

楠の子



佐賀県立中原特別支援学校「学校新聞」

第 5 号

令和元年10月23日発行(総務・広報部)

「つなぐ ～雑感 最近の出来事から思うこと～」主幹教諭 松尾みどり

始めに、先般の佐賀豪雨、台風15号そしてこのたびの台風19号など、昨今の災害により被災された方々へのお見舞い、そしてお亡くなりになられた方に哀悼の意を表します。

私事ですが、被災した親類の手伝いに行った折に、水没寸前の車から「一本の釣り糸」で近所の方を救うことができた話を聞きました。被災後、たくさんのボランティアや周囲の方に助けられていることへの感謝、心強さも口にしていました。話を聞きながら、物理的だけでなく、心が人と人、人が人を「つなぎ」、それが簡単ではなくても、これからへの「前向き」な気持ちにつながっているのだと思いました。

そうした中、私たちに勇気や希望、夢をもたらせているのが、文化やスポーツでの日本(人)の活躍です。8月の「しぶこスマイル」で涌かせたゴルフから、バスケットボール、新体操、陸上、バドミントン、テニス、卓球、バレーボールなどなど・・・、そして今、ラグビー。世界レベルでの大活躍、快進撃。まさに、ボールやバトンなどを「つなぎ」ながらの華麗なプレーや息をのむ展開、さらにそれを見守る観客、ファンの懸命な応援、感動する姿にも心動かされます。

そして、感動と言えば、忘れてはならないのが、わが中原特別支援学校の体育祭。今年から本校舎、鳥栖田代分校小・中学部と高等部、別日の開催となりました。天候にも恵まれ、赤、白とも団長を中心にチームがまとまり、「つながり」ながら、各種目、演技で躍動する児童生徒のみなさんの姿は素晴らしいものでした。先日、ノーベル化学賞を受賞された吉野 彰氏は、「なんでもいいんです。明るい話題で日本が大騒ぎするような、そういうことが子供にとって、何か自分の将来を決める1つのきっかけにできればいい」と話され、所属会社の社員の方は「(開発されたリチウム電池は)まだまだ社会に貢献できるから、われわれがそれを「つないで」いかなきゃいけない」と言われていました。嬉しいこと、心痛むことそれぞれがある中、これからますます子供たちが躍動できるように、文化やスポーツ、輝ける何かを見つけ、「つないで」いけるように「前向き」な気持ちで取り組んでいきたいと感じる今日この頃です。

「ジャンプ」～令和初の体育祭 勝利に導け～(本校舎高等部)

天気が心配でしたが、体育祭が無事に開催されました。今年から、体育祭と文化祭と隔年開催になり、さらに高等部だけでの体育祭になったことにより、参加種目も増えて、活気あふれる体育祭になりました。体育祭のメインである、応援合戦のダンスでは、一人一人がもてる力を出し切って、悔いの残らない素晴らしい体育祭になりました。



「作業学習の作品を販売しました」(本校舎中学部)

9月20日に中学部の校内販売を行いました。今年から中学部だけとなり、平日での開催となりましたが、多くのお客様に来ていただきました。生徒たちは、木工班、紙工班、手芸・縫製班に分かれて、作業学習で一生懸命に製作した製品を、大きな声で「いらっしゃいませ!」、「ありがとうございました!」など接客し、たくさんの製品を販売することができました。



「頑張ったよ！体育祭」（本校舎小学部）

今年度の小学部種目は、「中原っ子オリンピック 2019」に取り組みました。笛の合図でスタートし、ハードルや跳び箱を越え、トンネルやすずらんテープが張られたロープをくぐりました。そして、カラーピースを選び、パネルに貼ってゴールしました。みんなが貼ったカラーピースで素敵な五輪マークが完成しました。子供たちは、練習の成果を発揮し、大満足の笑顔を見せていました。たくさんの応援、どうもありがとうございました。

「すてきなミニコンサートに感動！」（分校舎）

今年度も、「アンサンブル：アルティスタ」さんによる素敵な演奏を楽しむことができました。バイオリン、キーボード、お箏の3重奏が織りなすハーモニーは、聴いている私たちの心に響いてきました。「春よこい」「情熱大陸」「君をのせて」など8曲の演奏で、多くの保護者の方々にも来ていただきました。



「体育祭みんなよく頑張りました！！」（鳥栖田代分校）

鳥栖田代分校小学部にとっては、初めての本校舎での体育祭でした。慣れない場所にドキドキしながらも、入場行進や徒競走、玉入れ、台風の日、学部種目、ダンス、団対抗リレーなど、練習の成果を発揮し、一生懸命頑張ってくれました。中学部生徒のかっこいいお手本を見ながら、赤組も白組もみんな力を合わせて、最後まで頑張ることができました。令和初の体育祭は、みんな笑顔いっぱいのいい体育祭になったと思います。



「第5回同窓会総会」（進路指導部）

9月28日（土）高等部体育祭の日に「第5回中原特別支援学校同窓会総会」を開催しました。今回は平成27年度から平成30年度までの卒業生35名が参加してくれました。就職して4年が経過した卒業生から今年の春に就職した卒業生まで様々でしたが、それぞれが先生方と久しぶりに会って頑張っている様子を伝えてくれました。本校職員も卒業生が学校に来て笑顔で近況報告をしてくれるととても嬉しいです。在校生の進路指導や現場実習等の指導・支援にもさらにやる気が湧いてきます。

来年の1月19日（日）には「第5回成人を祝う会」を開催する予定です。主役は新成人を迎える平成29年度卒業生となりますが、多くの卒業生・保護者の方に参加していただき、懐かしい先生との再会を喜び、学生時代のことや卒業後の仕事、プライベートの話などをしながら、楽しく有意義なひとときを過ごせればと思っています。

「ボランティア大活躍！」（PTAより）

9月28日（土）、10月5日（土）の体育祭に、計24名の大学生、高校生がボランティアとして、用具係や決勝係の補助をしてくれました。終了後は「児童生徒の笑顔、悔しい顔、いろんな顔を見ることができてとても楽しかったです。」「私たちが心が熱くなるくらい伝わってくるものがありました。」「みんなで助け合いながら一つのものを作り上げる姿にとっても感動しました。」等、熱い感想をいただきました。

